

# 「ともにあゆむ裁判を支援する 南医療生協OBの会」に 参加してください！



私たちは、南医療生協で働いてきた職員OBです。

私たちは、愛知労働局が認めた労災を否定し続ける南医療生協とたたかう梅村紅美子さんを応援し、「ともにあゆむ裁判を支援する南医療生協OBの会」を2013年1月20日に発足させました。

## 南医療生協の変貌の中で・・・

この10数年で、南医療生協は大きく変貌しました。

労働組合活動への厳しい締め付けが行われて、情報は隠蔽され、集団化しないように管理されて、職員はバラバラの状態です。

仕事においても、自分の部署以外のことは、よくわからない状況にあります。

私たちは、この10数年間、多くの職員（特に事務職に多い）がうつ病になったり、自殺したり、過重労働や締め付けで働く意欲をなくして、南医療生協から去っていくのを見てきました。

あるとき、ある部署のAさんの噂話が頻繁に飛び交うようになります。「Aは問題だ」「Aは仕事ができない」「Aは・・・」

しばらくすると、「Aはうつ病で休職している。弱いところがあったから」

更にしばらくすると、「Aが退職した」と。

あんなに真面目で親切で、仕事熱心なAさんがなぜ？と驚きました。

でも、支えたいと思っても、Aさんがどういう状況か、バラバラにされている私たち職員にはわからず、支援のしようがありませんでした。

その後も、「Bさんが・・・」、そして、「Cさんも・・・」と次々に同様のことが繰り返し起こり、力のある職員が相次いで去っていきました。

・・・裏面に続く



---

「ともにあゆむ裁判を支援する南医療生協OBの会」に入会を申し込みます

名前 \_\_\_\_\_ 在職中の職種 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

Tel \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

※メールアドレスのある方は、下記のアドレスへメールまで、件名に「OB会入会希望」と書いて申し込みをしていただくと非常に助かります。 E-mail tomoniayumu\_umemura@yahoo.co.jp

## 南医療生協を大事に思うからこそ・・・

多くの力のある職員がいなくなった南医療生協は、ますます職員や労働組合への締め付けを強め、20数億円かけて行ったリニューアル工事完成からわずか3年後に、100億円かけての病院新築移転を決めました。

多額の負債を背負い、「差額ベッド代徴収」など、南医療生協が加入している全日本民医連の方針にも背いて、営利主義の道を突き進んでいます。

梅村さんのことを悪くいう人がいます。「お金をもらおうと思って裁判をしている」「自分から辞めたのに」など、さまざまなデマが流されています。

しかし、梅村さんと一緒に働いてきた私たちは、彼女の人柄を知っています。

優秀で、誠実で、人を思いやる優しさを持ち、自分の損得のためではなく、南医療生協の組合員さんのために骨身を惜しまず働く梅村さんの姿を、私たちは21年間ずっと見てきました。

矢面に立つのは、心ない陰口も言われるしつらいだろうと思います。

それでも、いまでも闘病生活を送る梅村さんは、裁判を起こしました。

自分のためだけでなく、同じように南医療生協から苦しみながら去り、いまうつ状態で苦しんでいる元同僚たちや、厳しい労働条件の中でいま働いている職員のためにもと、力を振り絞っているのです。

梅村さんの勇気と、南医療生協に良くなってほしいと願う深い思いに、私たちは心を動かされました。

もうこれ以上、うつ病になったり、自殺する職員を出さないでほしい。そう願わずにはいられません。

どんなに建物や医療機器が立派でも、それを活用するのは人（職員）です。職員を大切にしない医療機関で良い医療など行えるはずがありません。

私たち南医療生協職員OBは、南医療生協が梅村紅美子さんの労災を認め、一日も早く再発防止に向けた実効力ある改善を行うことを願って、梅村紅美子さんを応援していきます。

多くの職員OBの方のご参加をお待ちしています。

### 「ともにあゆむ裁判を支援する南医療生協OBの会」

代表 菊池啓子（元看護師） 副代表 横井俊治（元事務）

《連絡先》〒488-0839 尾張旭市渋川町2-6-3 ラフォーレ森203号 横井税理士事務所内

FAX 0561-76-5252

E-mail tomoniyumu\_umemura@yahoo.co.jp（支援する会と同じ）

